

記者の「一句」

文化部長・加古陽治

木枯や反戦漫画五十年

汲田 隆彦(75) 東京都練馬区

作者は「グミタ・リュウ」のペンネームで知られる漫画家。政治を風刺する一コマ漫画が得意で、本紙でもよく閣僚らの似顔絵を描いているが、原点は南太平洋のビキニ環礁で一九五四年に行われた米国の水爆実験にあるという。この句は、半世紀にわたり反戦漫画を描いてきた自画像だ。

一日を生きて一日歳をとる

村田 葉(49) 東京都日野市

「ただいま」があるからこそこの「行つてきます」

佃 二葉(52) 横浜市旭区

握握を解けば潮の香さくら貝

横井 隆和(72) 千葉県野田市

平和色それは優しいさくら色

浦野 美智子(63) 千葉市中央区

桜咲け平和の空へ手を広げ

足立 万怜(14) 東京都多摩市

春の戸をくぐり戻れよ拉致みんな

小嶋 祐一(59) 東京都杉並区

元ホームレス今ホームレスもボラン

ティア 白松 妙子(58) 神奈川県座間市

ザックザック白菜切れば軍靴の音

福川 いつみ(74) 千葉県君津市

白雪や血染めるなかれ9条の下

道下 静恵(106) 札幌市北区

文化部・矢島智子

あなたが好き世界中にいる「あなた」

川口 史代(33) 東京都台東区

史代さんは結婚して六年余。夫は海外で知り合った外国人だ。誰かにとって大切な人が世界中にいることを忘れないように、と句に詠んだ。軍事同盟ではなく、ひとりひとりの思いでつながる友だちという存在が世界中に増えていけば、戦争への最大の抑止力になると信じている。

湯豆腐の震えや命守りたき

藤川 都(49) 東京都杉並区

踏みしめる大地のありて民衆の幸福

長瀬 澄子(69) 東京都三鷹市

根菜を抱えし母娘年の暮

日下 若名(49) 東京都世田谷区

黒豆の灰汁とり願う幸のくに

鳥光 敬子(76) 千葉県市川市

平和とや炊き出しの列に枯葉舞う

神 惺子(72) 千葉県松戸市

青春を咲き直したり冬桜

宮本 克己(63) 千葉県習志野市

雑踏の中に平和の音を聞く

白川 順一(75) 東京都杉並区

漂着す難民の子の命絶え

斎藤 紀代美(71) さいたま市浦和区

あんば柿おまえに罪はないけれど

一階堂 みきこ(60) 埼玉県志木市

文化部・出田阿生

春の陽にコートを脱いで語りあう

長沼 通郎(42) 横浜市泉区

北風が武力なら、太陽は対話。ふだんの人間関係だって同じだ。強硬な相手にはかたくなになるし、笑顔を向けられれば知らず心がほぐれる。そんな単純な、とバカにできない。単純にはけっこう真理が宿っている。

春雨じゃ核の傘などいらんわい

横山 淳(68) 東京都世田谷区

もう戦争見なくていいね野坂さん

林 圭子(55) 千葉市中央区

けなげだが根はどっしりと花すみれ

新倉 泰雄(63) 神奈川県横須賀市

兄戦死一徹父のほほの汗

鈴木 百合子(84) 埼玉県羽生市

ひとりである自由平和の証

吉田 きよみ(60) 埼玉県川越市

やめようねせんそうあぶない人ごころ

五味 達秀(7) 東京都大島町

戦争は勝っても負けても恥ずかしい

林 ひろみ(64) 東京都品川区

百人に百通りほどの平和かな

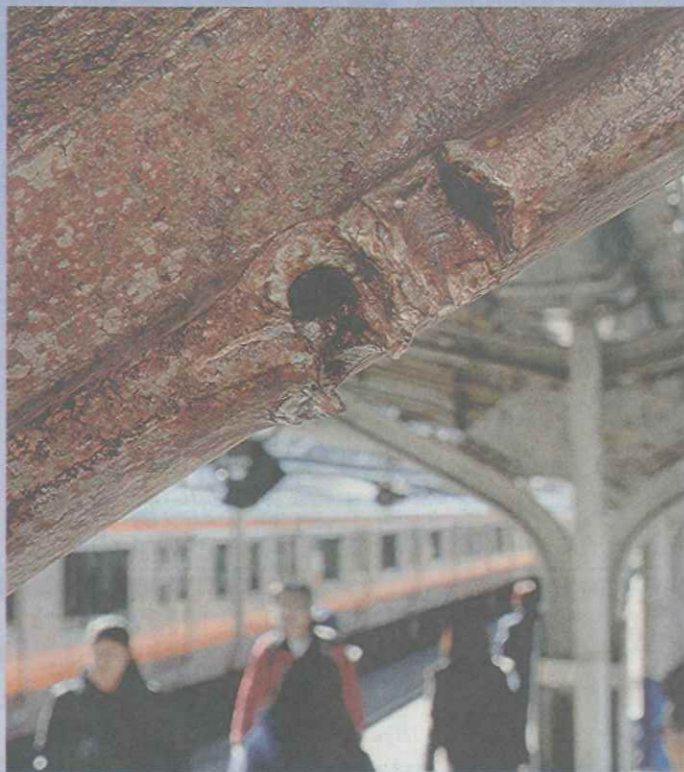
塚田 明克(75) 東京都国立市

獅子身中男尊女卑生きている

安藤 紀一郎(70) 大分市

そぞろ寒ホームに残る弾の痕

池田 秀昭(68) 千葉県市原市



JR高尾駅(東京都八王子市)の1、2番線ホームの鉄の柱には太平洋戦争末期の昭和20年、米軍艦載機の機銃掃射を受けた痕が残っている。弾でえぐれた様子が分かるように、そこだけ塗装をしていない。今も時折、見にくる人がいる。句を詠んだ池田さんもその一人。「こんなに身近に戦争があったんだ」と感じたという。駅から1.5キロほど西にある中央線湯の花トンネル付近では、満員の列車が激しい銃撃に遭い、60人以上の死者が出ている。(梅津忠之撮影)

社会部長・瀬口晴義

老ひし身を湯船に伸ばし島節を

吉田 澄江(82) 東京都大島町

二〇一三年十月の土石流に巻き込まれ、自宅は全壊した。吉田さんは屋根と畳の間にはさまって奇跡的に助かった。野菜の栽培、草取りやまき拾い…。長年風雪にさらされてきた手は汚れ、体のあちこちに痛みが走る。それでも、人に頼らず一人で風呂に入る事ができる。体を温めながら大島節を歌うひとときがうれしい。

みちのくに雪田残して彼ら消ゆ

進藤 ユミコ(67) 埼玉県狭山市

戦死者の子も傘寿なり冬の雷

大村森美(80) 東京都大島町

兜太の字今年もカバンにつけて行く

石毛 佳世子(70) 東京都小金井市

寒椿戦死の兄の墓碑に寄り

木下 敏治(90) 東京都練馬区

忘るるな名もなき人や寒椿

加瀬 雅英(52) 埼玉県嵐山町

軍服の写真の父と日向ぼこ

小出 将善(82) 埼玉県滑川町

本当は戦嫌ひな兜虫

伊藤 真臣(72) さいたま市南区

夕焼け空赤児老人みな国宝

阿知波 純子(56) 千葉県東金市

コタツにてみかんを食べておならす

高橋 咲和子(9) 東京都武蔵野市

募集しています

金子兜太さんとうせいこうさんが選ぶ「平和の俳句」への投稿を募集しています。

あて先

〒100-8525 東京新聞文化部「平和の俳句」係

はがき裏面

① 1句 ②住所 ③氏名(ペンネーム不可、振り仮名付き) ④電話番号 ⑤年齢 ⑥職業を明記

投稿は未発表の自作の句に限り、季語のない句も受け付けます。よろしければ、句の背景にある体験、込めた思いなどをお書きください。